

市町村名	北大東村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-① 観光アクセス道路美化緑化推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ア		
担当部課名	建設課	事業実施 (予定)年度	平成24年度～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	「新しい生活様式／ニューノーマル」に おける安全・安心で快適な観光の振興		
事業内容	Ⅲ-1-(1)						
効果発現年度	■ 当年度 □ 後年度(年度)						
実施方法	□ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	2,500	2,500	2,440	12,408	12,609
		(b) 予算現額	1,551	2,500	1,469	12,408	11,397
		(c) 増減額(b-a)	▲ 949	0	▲ 971	0	▲ 1,212
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
	A. 計(b+d)		1,551	2,500	1,469	12,408	11,397
	B. 執行済額		1,551	1,040	1,469	6,239	11,397
	うち交付金充当額		1,240	832	1,175	4,991	9,103
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	41.6%	100.0%	50.3%	100.0%
予算の状況の説明		事業費の確定に伴い、1,212千円減額した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	アクセス道路及び周辺道路の美化実施:3,000 m(10箇所)	目 標	(2,500m 10箇所)	(2,500m 10箇所)	(3,000m 10箇所)	(3,000m 10箇所)	
		実 績	2,500m 10箇所	2,500m 10箇所	3,000m 10箇所	3,000m 10箇所	
	・作業員配置 4名 ・重機による作業 2回	目 標	(4名)	(4名)	(4名 2回)	(4名 2回)	
		実 績	3名	2名	4名 2回	2名 2回	
達成 状 況 説 明	継続的に清掃員の募集を行っていたが、目標人数に達する事ができなかった。重機による作業は計画通り行えアクセス 道路及び周辺道路の美化を実施することで、観光客等の受入体制が整備できた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を 含め、観光客等を対象としたアンケートにより、 本事業のあり方について検証する。	目 標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実 績		82%	93%	85%	
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進 捗 状 況 説 明	観光客等の受入体制の整備・誘客促進・観光振興に関するアンケート検証を行った結果、85%の方から魅力的な景観形成が図られ たとの回答が得られた。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	作業従事者は60歳以上の高齢者であり、年間を通しての作業員確保が難しくなっている。	作業員の確保が厳しい現状であるため、作業員の募集方法等や作業効率化等が課題となった。
今後の取り組み方針		
引き続き人員確保に努めるとともに、作業の効率化を検討し、観光アクセスに重要な道路や周回道路の改修及び美化を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
11,397	11,397	9,117	2,280	0

北大東村
11,397千円

委託料
11,397千円

道路清掃員
397千円

(株)与儀組
11,000千円

作業委託料 2名

観光アクセス道路
美化緑化推進委託

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託職員については、村内求人・給料表と併せて適正に選定し、委託業務については、委託業者は指名競争入札により適正に選定しており、妥当であった。 ○予算規模については、適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北大東村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-② 地域の観光文化資源の担い手育成事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-イ		
担当部署名	総務課	事業実施 (予定)年度	平成24年度～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	文化芸術の振興と 文化芸術を支える環境づくり		
	Ⅲ-1-(1)						
事業内容	伝統文化である大東太鼓の担い手を育成・確保し、魅力を積極的に発信することによって観光誘客を図るため、島外の交流イベント等に参加する演者の渡航費を補助する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	3,000	1,000	1,000	1,323	1,539
		(b)予算現額	2,500	1,000	1,000	612	2,273
		(c)増減額(b-a)	▲500	0	0	▲711	734
		(d)繰越額	—	—	—	—	—
	A. 計(b+d)		2,500	1,000	1,000	612	2,273
	B. 執行済額		1,886	0	0	611	2,142
	うち交付金充当額		1,508	0	0	398	1,714
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		75.4%	0.0%	0.0%	99.8%	94.2%
予算の状況の説明		事業費の確定に伴い、660千円増額した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R5年度	R6年度	
	文化交流イベントの開催:4回 (県外:1回、那覇:1回、島内:2回)	目 標	(4回)	(0回)	(4回)	(4回)	
		実 績	0回	0回	4回	5回	
		目 標	()	()	()	()	
実 績							
達成 状 況 説 明	文化交流イベントの開催を当初県外1回、那覇1回、島内2回計画しており、県外イベントとして鼓遊太鼓交流演奏会、県内イベントとして離島フェアへ開催期間3日間の演奏出演(1回)、村内行事として地域職員歓・送迎会、大東宮祭へ演奏出演し(計3回)、太鼓交流事業を実施した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値 (H26年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (R7年度)
	島の観光入客者数:1,000人以上	目 標	(1,000)	(1,100)	(1,100)	(1,000)	(1,100)
		実 績		1,186	1,782		
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
進 捗 状 況 説 明	入域観光客数については、イベント派遣等による、島の魅力発信を継続的に行ったことで、前年度から増加(+596人)し、約162%の達成率となった。 ※島の観光入客数は沖縄県地域・離島課の「離島関係資料」の公表時期の関係上、直近の数値は令和5年度(令和4年3月～令和5年2月)である。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	継続して、島外イベントへの参加ができるよう、発表の機会づくりが求められる。	引き続き、『大東太鼓』を後世に継承し、島外イベントで演奏する機会をとおして、北大東村をPRし、島への観光客誘致、活性化に繋げていく。
今後の取り組み方針		
北大東島の文化資源である『大東太鼓』の魅力を発信することで更なる観光誘客に努めるとともに、より多くの方に大東太鼓を披露できるよう今後も練習などの取組を通して新たな人材の演者の育成に取り組んでいく。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>2,273</td><td>2,142</td><td>1,714</td><td>428</td><td>131</td></tr> </table> 北大東村 2,273千円 補助金 2,273千円 ほか、村負担分 （交付対象外経費） 131千円 大東太鼓 北曙会2,273千円 鼓遊太鼓交流演奏会 離島フェア 演奏派遣費					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	2,273	2,142	1,714	428	131
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
2,273	2,142	1,714	428	131										
資金使途の流れ、検 点・検 評価 ・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金支出先については、太鼓指導を実施しているのが1団体のみであることから、選定は妥当であると考える。 ○予算規模については、概ね適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において、北大東村交付要綱に基づいて支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	北大東村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	オンライン双方向授業支援モデル事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(1)-ウ	
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成25年度～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	公平な教育機会の確保と学習環境の充実	
事業内容	村営塾を開講し、児童生徒の個々の学力に応じた学習支援員による指導及び、ICTを活用した現役東大生によるオンライン双方向授業を実施し、児童生徒の学力向上を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	予算の状況	(a)当初予算額	14,500	14,500	14,950	15,000	15,262
		(b)予算現額	13,382	14,500	14,401	15,000	15,702
		(c)増減額(b-a)	▲1,118	0	▲549	0	440
		(d)繰越額	—	—	—	—	—
	A. 計(b+d)		13,382	14,500	14,401	15,000	15,702
	B. 執行済額		13,382	13,588	9,184	10,262	11,379
	うち交付金充当額		10,705	10,870	7,376	7,501	9,103
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	93.7%	63.8%	68.4%	72.5%
予算の状況の説明		他事業へ計2,450千円の流用を行った。 不用額の1,873千円については、県内の教員不足も相まって学習支援員の配置が4～7月、3月のみとなったことによるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	学習支援員の配置:1名	目標	(1名)	(1名)	(1名)	(1名)	
		実績	1名	1名	1名	1名	
	東大生によるオンライン双方向授業: 授業数66授業/年、講師10名	目標	(10名)	(10名)	(10名)	(10名)	
		実績	10名	12名	14名	19名	
達成状況説明	教員不足も相まって学習支援員の配置が4～7月、3月の配置となったが、不在期間は村職員で補ったほか、タブレットを配布したことで、中学生徒自宅での授業を実施する事で、必要な授業数の実施をすることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	令和6年度沖縄県学力到達度調査における県と北大東村との平均正答率の差 ①小学校 県平均以上 ・5年生:算数、国語・6年生:算数、国語	目標	()	(県平均以上)	(県平均以上)	(県平均以上)	()
		実績		平均以上 県 60.1% 村 65.3%	平均以下 県 59.2% 村 54.9%	平均以下 県 56.1% 村 55.9%	
	令和6年度沖縄県学力到達度調査における県と北大東村との平均正答率の差 ①中学校 県平均以上 ・1年生:数学、国語、英語 ・2年生:数学、国語、英語	目標	()	(県平均以上)	(県平均以上)	(県平均以上)	()
		実績		平均以上 県 48.2% 村 50.7%	平均以上 県 446% 村 45.9%	平均以下 県 41.9% 村 414%	
	進捗状況説明	オンライン双方向授業の実施により、現役東大生の指導を通して教育環境格差の解消が図られ、児童・生徒の学習に対する習慣や姿勢が身に付いてきているが、沖縄県学力到達度調査における県と北大東村との平均正答率の差は小学校・中学校ともに県平均には僅かながら届かなかった。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	現役東大生の指導についてこれない児童生徒が、毎年度各学年に一定数いる状況	現役東大生の指導についてこれない児童生徒に対する個別での追加支援が必要となっており、村営塾の学習支援員を活用した個別指導による学習能力に応じた個別対応を実施している。
今後の取り組み方針		
・引き続きオンライン双方向授業の講師や村営塾の学習支援員と連携を図りながら、個々の学習能力に配慮したきめ細やかな対応を行うことにより、村内児童生徒全体の学力向上に対する支援を行っていく。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11,998</td><td>11,379</td><td>9,103</td><td>2,276</td><td>619</td></tr> </tbody> </table> 北大東村 11,999千円 報酬 346千円 給与 183千円 職員手当 307千円 委託料 11,162千円 ほか、村負担分 （交付対象外経費） 619千円 学習支援員 346千円 学習支援員 183千円 学習支援員 307千円 （株）フィオレ・コネクション 11,162千円 村営塾塾講師 1名 オンライン双方向授業 支援モデル事業に伴う 現役東大生によるなか よし塾Web学習支援事 業					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	11,998	11,379	9,103	2,276	619
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
11,998	11,379	9,103	2,276	619										
資金 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、オンライン授業を実施しているのは1社のみとなっており、随意契約による契約は妥当と考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、県内の教員不足等の影響により3割ほどの執行残が発生した。											
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については、額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	北大東村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-① 離島の定住促進に向けた子育て基盤構築事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-ウ		
担当部課名	教育委員会	事業実施 (予定)年度	平成24年度～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	地域の発展に寄与する 魅力ある高等教育環境の充実		
事業内容	Ⅲ-9-(2)						
事業内容	安心・安全に子育てできる環境を整備するため支援員を配置し、認定こども園を実施することで、保護者の育児への負担感を軽減する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	9,500	14,000	18,000	18,000	17,500
		(b)予算現額	3,993	14,000	18,000	18,000	21,687
		(c)増減額(b-a)	▲ 5,507	0	0	0	4,187
		(d)繰越額	—	—	—	—	—
	A. 計(b+d)		3,993	14,000	18,000	18,000	21,687
	B. 執行済額		3,993	12,594	17,688	14,793	21,687
	うち交付金充当額		3,194	10,075	14,150	11,834	17,350
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	90.0%	98.3%	82.2%	100.0%
予算の状況の説明		給与改定に伴う支援員の給与等増額により、他事業から1,987千円の流用を行った。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	認定こども園支援員配置:6名	目 標	(5名)	(6名)	(6名)	(6名)	
		実 績	延べ11名	延べ9名	延べ8名	延べ9名	
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成 状 況 説 明	こども園支援員配置目標は6名(フルタイム4名・パートタイム2名)としていたが、フルタイム2名・パートタイム7名、延べ9名の配置となり、安心安全に子育てできる環境整備ができた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	対象となる幼児の保護者へのアンケートで、安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じた割合(80%以上)を含め事業のあり方を検証する。	目 標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実 績		88%	90%	92%	
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進 捗 状 況 説 明	本事業を活用した保育事業の実施により、安心・安全に子供を預けることができた事で、保護者の育児負担感が軽減されたとの意見を92%の方から頂いた。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	より良い育児環境を形成するために、預けられる対象年齢を0歳からとして考えているが、職員の産休等が相次ぎ、0歳対象幼児の受け入れを継続できない状況になった。	沖縄県が実施している支援事業等を活用し支援員等の確保に努め、預けられる対象年齢0歳児の再開できる環境を整える必要がある。
今後の取り組み方針		
・引き続き島内外から支援員を募集し、こども園へ支援員配置を継続的に行い、保護者の育児負担軽減に対する取組を実施していく。 ・アンケート検証による保護者からの様々な意見等を取り入れ、より良い子育て環境の整備を継続していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
		21,688	21,687	17,350	4,337	1

北大東村
21,688千円

報酬
10,885千円

給与
4,078千円

職員手当
5,273千円

共済費
1,434千円

旅費
16千円

会計年度任用職員
7名
10,885千円

会計年度任用職員
2名
4,078千円

会計年度任用職員
9名
5,273千円

会計年度任用職員
6名
1,434千円

会計年度任用職員
1名
16千円

交付対象外経費
1千円

認定こども園
会計年度任用職員
延べ9名

資金の 使途の 流れ、 点検 評価 費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○会計年度任用職員については、村内求人・給料表に併せて適正に選定しており、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、給与改定に伴う支援員の給与額等増額により、予算増となり、他事業からの予算流用を行った。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北大東村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-② 離島の児童生徒の交流促進事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 沖縄振興基本方針 該当箇所	第4章-5-(1)-ウ 公平な教育機会の確保と 学習環境の充実		
担当部署名	教育委員会	事業実施 (予定)年度	平成24年度～ 令和13年度		Ⅲ-9-(2)		
事業内容	児童生徒の島外・県外へのスポーツや交流学习における派遣渡航費の補助支援を行い、競争や交流の機会を増やすことで、児童生徒に広い視野を持たせる。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	4,000	4,000	3,917	3,946	3,946
		(b)予算現額	2,103	4,000	4,092	2,695	866
		(c)増減額(b-a)	▲1,897	0	175	▲1,251	▲3,080
		(d)繰越額	—	—	—	—	—
	A. 計(b+d)		2,103	4,000	4,092	2,695	866
	B. 執行済額		2,103	2,373	4,092	2,557	849
	うち交付金充当額		1,682	1,899	3,273	1,965	679
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	59.3%	100.0%	94.9%	98.0%
予算の状況の説明		派遣件数の減に伴い、3,080千円を減額した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	渡航助成の実施	目 標	(助成の実施)	(助成の実施)	(助成の実施)	(助成の実施)	
		実 績	実施	実施	実施	実施	
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成 状 況 説 明	スポーツ大会派遣等(バドミントン競技大会・童話お話し発表会等)による県内への移動費助成を行った。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	派遣された児童生徒が広い視野を持てたか (80%以上)を含め、保護者に対するアンケート により本事業を検証する。	目 標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実 績		100%	100%	100%	
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進 捗 状 況 説 明	本事業を活用した大会派遣等の実施により、児童生徒が広い視野を持つことができたとの意見を頂いた。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	児童生徒数の減少により参加できる大会等が縮小されてきている。	小規模離島であり児童生徒数も減少しているため刺激を受ける機会が少ないことから他の大会等や練習試合等にも参加させてより広い視野を持たせたいと考えているが、学校の授業日数や島内イベント等が詰まっているため、利用に関する更なる検証が必要と考える。
今後の取り組み方針		
今後更に学校や教育委員会、PTA等と話し合いを行い、大会・練習試合等にも助成を拡充していけるか検討していく。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>893</td><td>849</td><td>679</td><td>170</td><td>43</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	893	849	679	170	43
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
893	849	679	170	43										
北大東村 893千円 補助金 893千円 ほか、村負担分 （交付対象外経費） 43千円 北大東小中学校 893千円 中学校バトミントン大会 童話・お話・意見発表会等														
資金使途の流れ、点検・評価・費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金支出先について、生徒指導を実施しているのは1団体のみとなっており、選定は妥当であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、概ね適正な規模であったと考えている。											
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	北大東村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③ 離島特別医療質確保推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(8)-ウ		
担当部署名	福祉衛生課	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	公平で良質な医療・福祉サービスの確保		
事業内容	III-9-(2)						
事業内容	離島の不利益を克服し、特定重病患者等の健康を守るため、島内で対応できない医療サービスを受ける際の渡航費の一部助成や、島内に専門医療従事者を招聘し健康増進を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	予算の状況	(a)当初予算額	3,500	3,500	3,272	3,381	5,025
		(b)予算現額	909	3,500	3,646	4,632	5,488
		(c)増減額(b-a)	▲2,591	0	374	1,251	463
		(d)繰越額	—	—	—	—	—
	A. 計(b+d)		909	3,500	3,646	4,632	5,488
	B. 執行済額		909	2,671	3,646	4,632	5,488
	うち交付金充当額		726	2,137	2,917	3,703	4,391
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	76.3%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		特定重病患者等受診者の増に伴い、他事業から463千円を増額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	特定重病患者の検診助成の実施	目標	(助成の実施)	(助成の実施)	(助成の実施)	(助成の実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	専門医療従事者の招聘	目標	(助成の実施)	(助成の実施)	(助成の実施)	(助成の実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
達成状況説明	事業制度の周知を図り、島内で受診対応出来ない、特定重病患者等の検診(118人/205回)に係る医療サービスを受ける際の沖縄本島への渡航移動費助成を行った。 また、専門医療従事者を招聘(1人/12回)して相談・検診(48人/147回)を行うことにより、村民の心身の健康に関する不安を解消した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	渡航費支援が必要な人への支援率:100%	目標	()	(100%)	(100%)	(100%)	()
		実績		100%	100%	100%	
	心身の健康に関する不安が解消されたか(80%以上)を含め、受診者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		100%	100%	100%	
	進捗状況説明	・支援が必要な方へ制度説明を行い、申請のあった方全てに対して支援を実施することができた。 ※支援率=(渡航支援した人)/(島外での診療が必要と診断された人) ・専門医療従事者による受診を要望する人へのアンケートを実施し、100%心身の健康に関する不安が解消されたと回答があった。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	特定重病患者の検診助成制度が浸透してきたため、申請件数が前年比で約1.09倍（+17回）増加したことにより、想定予算を上回った。	次年度も同様な事態が想定されるため、予算の増加を図り引き続き渡航費支援が必要な人へ支援できる環境を整える必要がある。
今後の取り組み方針		
引き続き島民の要望等に沿えるような形で今後も心身の健康に関する不安を解消していく。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>5,488</td><td>5,488</td><td>4,391</td><td>1,097</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,488	5,488	4,391	1,097	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
5,488	5,488	4,391	1,097	0										
<pre> graph LR A[北大東村 5,488千円] --> B[報償費 425千円] A --> C[補助金 5,063千円] B --> D[専門医療従事者 425千円] C --> E[特定重病患者等受診者 4,409千円] C --> F[専門医療従事者招聘 653千円] D --- G[報償費] E --- H[北大東村専門医療要治療にかかる渡航費助成] F --- I[北大東村専門職等招聘] </pre>														
資金使途の流れ、検評費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受診証明書・搭乗確認書等にて選定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、申請件数増により、想定予算を上回ったため、											
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	北大東村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-① 北大東村景観形成事業				新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ア	
担当部署名	建設課	事業実施 (予定)年度	平成26年度～ 令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	「新しい生活様式／ニューノーマル」 における安全・安心で快適な観光の振興	
事業内容	北大東村特有の地域性にあった景観づくりに向けて、海岸道路沿いの周辺環境に配慮した景観整備(伐採・植栽)を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	予算の 状況	(a)当初予算額	10,000	10,000	6,000	6,000	6,000
		(b)予算現額	10,670	12,486	6,000	6,000	5,940
		(c)増減額(b-a)	670	2,486	0	0	▲60
		(d)繰越額	—	—	—	—	—
		A.計(b+d)	10,670	12,486	6,000	6,000	5,940
	B.執行済額		10,670	12,452	5,940	5,720	5,940
	うち交付金充当額		8,536	9,961	4,752	4,576	4,752
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	99.7%	99.0%	95.3%	100.0%
予算の状況の説明		入札残60千円を減額した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	村一周海岸道路の植樹環境整備:300m	目標	(350m)	(300m)	(300m)	(300m)	
		実績	350m	300m	300m	300m	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	マリンレジャー施設や観光ガイド施設等の観光基盤整備と合わせて、景観性が乏しい村一周道路の海岸沿いを地域性にあった植樹・環境に整備することにより観光誘客を図る。今年度は島北西周辺の景観形成の環境整備を行った。 全長9,000m 進捗率54.44%						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	村一周海岸道路の植樹環境整備 植樹工事等の完了:300m	目標	()	(300m)	(300m)	(300m)	()
		実績		300m	300m	300m	
	魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		82%	87%	85%	
	進捗状況説明	・景観性が乏しい村一周道路の海岸沿いの大東ピラミッド周辺(300m)整備を行った。これまでの整備実績は4,900mとなっており全体(9,000m)の54.44%の整備が完了している。 ・観光客等へのアンケートを実施し、85%の方から魅力的な景観形成が図られたと回答があった。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	前年度から引き続き文化的景観地区である、大東ピラミッド付近から北港の間のギンネム等の雑草が景観を悪くしていることが課題である。	島の観光資源であり文化的景観地区でもある大東ピラミッド付近から北港の景観形成を行うことが更なる観光誘客に必要である。
今後の取り組み方針		
既存の岩礁や風景などを活かしつつ、島の観光資源であり文化的景観地区でもある大東ピラミッド付近の植樹・景観形成整備を実施し更なる観光誘客に繋げる。また、整備対象は全長9,000mであり、令和13年度の整備完了を目標としており、平成26年度から計4,900mを整備済みであり、進捗率については、54.44%となっていることから引き続き整備を行い、観光景観の向上を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,940	5,940	4,752	1,188	0

北大東村
5,940千円

→

工事請負費
5,940千円

→

(株)与儀組
5,940千円

北大東村景観形成整備

資金の 使途の 流れ、 点検、 評価、 費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事業者は指名競争入札により適正に選定しており、妥当であった。 ○予算規模については適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北大東村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-① 土づくり推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(7)-ア		
担当部署名	経済課	事業実施 (予定)年度	令和3年度～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	おきなわブランドの確立と 精算供給体制の強化		
	Ⅲ-1-(6)						
事業内容	大東島の土壌は、特殊な土壌であり作物栽培を行う上での悪条件な土壌であることから、圃場ごとに土壌カルテの作成を行い、圃場ごとに適した土壌作りを促進し、農産物生産量を増加させる。						
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(令和9年度)						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R3年度(繰越)	R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	—	5,000	—	5,962	6,699
		(b)予算現額	—	3,960	—	5,962	6,699
		(c)増減額(b-a)	—	—	—	0	0
		(d)繰越額	12,000	—	3,960	—	—
		A. 計(b+d)	12,000	3,960	3,960	5,962	6,699
	B. 執行済額		11,990	0	3,960	4,510	5,617
	うち交付金充当額		9,592	0	3,168	3,608	4,494
	次年度繰越額		0	3,960	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		99.9%	0.0%	100.0%	75.6%	83.8%
予算の状況の説明		不用額1,082千円については入札残によるものである。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況				
			R6年度	年度	年度	年度	
	土壌カルテ作成	目 標	(完了)	()	()	()	
		実 績	完了				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成 状況 説明	土壌カルテ作成が完了した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値 (H29-R5年度)	R6年度	R年度	年度	目標値 (R9年度)
	土壌カルテ作成	目 標	()	(完了)	()	()	()
		実 績		完了			
	【令和8年度成果目標】 農産物生産量	目 標	(24,938t)	()	()	()	(28,617t以上)
		実 績					
	進捗 状況 説明	土壌カルテ作成が完了した。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	北大東島の土壌特性は、高密度、強酸性であり、作物栽培上の悪条件な土壌となっており収穫量の低下に繋がるのが課題となった。	各圃場毎の土壌調査を行い、土壌カルテを作成し、各圃場に適した土壌作りを促進する必要がある。
今後の取り組み方針		
土壌カルテを参考に、各農作物に適した土壌になるようアドバイス等を行い農作物生産量を増加させる。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>5,617</td><td>5,617</td><td>4,494</td><td>1,123</td><td>0</td></tr> </table> 北大東村 5,617千円 委託料 5,617千円 沖縄農業技術開発(株) 5,617千円 北大東村土壌カルテ作成委託業務					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,617	5,617	4,494	1,123	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
5,617	5,617	4,494	1,123	0										
資金使途の流れ、検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名競争入札により適正に選定しており、妥当であった。 ○予算規模については適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	北大東村							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	7-① 低炭素社会構築事業				新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(1)-ア 脱炭素島しょ社会の実現に向けたエネルギー施策の推進		
担当部署名	福祉衛生課	事業実施 (予定)年度	令和6年度～令和8年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-10-(2)		
事業内容	環境負荷を低減させた省エネルギー社会を目指し、本村の有する公共施設の空調機器等を省エネ機器への切り替えを行い、温室効果ガスの削減を図る。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(令和8年度)							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R6年度	年度	年度	年度	年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	7,821					
		(b)予算現額	7,821					
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
		(d)繰越額	—	—				
		A. 計(b+d)	7,821	0	0	0	0	
	B. 執行済額		5,478					
	うち交付金充当額		4,382					
	次年度繰越額		0	0				
	執行率(%) (B/A)		70.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明		不用額2,343千円については入札残によるものである。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況					
			R6年度	年度	年度	年度		
	実施計画作成	目 標	(実施計画作成)	()	()	()		
		実 績	実施計画作成					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成 状況 説明	実施計画が完成した。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	果目標(指標)		基準値 (年度)	R6年度	年度	年度	目標値 (年度)	
	実施計画作成完了	目 標	()	(実施計画作成)	()	()	()	
		実 績		実施計画作成				
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗 状況 説明	実施計画が完成した。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	今後行う空調機器等の省エネ機器への切替工事期間中の施設利用者への影響を抑えるため、稼働時間外等を活用した施行スケジュールの調整が必要となる。	工事期間中は関係者（村民等）への周知を行い、工事が円滑に進むよう詳細なスケジュールを組立てる必要がある。 導入後の省エネ効果を適切に把握・報告するために、電力使用量等のデータ取得方法をあらかじめ明確にし、必要に応じて計測機器の導入や運用管理体制の構築を図る必要がある。
今後の取り組み方針		
省エネ機器への切替後は、省エネ効果の見える化を推進し、効果的な情報発信や成果の地域内共有方法を検討し、持続的な省エネ推進体制の構築を目指す。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象 事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,478</td><td>5,478</td><td>4,382</td><td>1,096</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	5,478	5,478	4,382	1,096	0
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
5,478	5,478	4,382	1,096	0										
北大東村 5,478千円 → 委託料 5,478千円 → 琉球国際航業(株) 5,478千円 (北大東村低炭素社会 構築事業)														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名競争入札により適正に選定しており、妥当であった。 ○予算規模については適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	北大東村									
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】										
事業番号・事業名	8-①		重要文化的景観拠点エリア活用・修景事業				新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(10)-ウ		
	教育委員会		事業実施 (予定)年度	令和6年度～令和9年度		沖縄振興基本方針 該当箇所		持続可能で質の高い離島観光 の振興		
担当部署名	Ⅲ-9-(2)									
事業内容	北大東村の地域振興、文化財活用及び観光振興のため、歴史資源である重要文化的景観の範囲内において、拠点エリアの活用・修景整備を行う。									
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(令和9年度)									
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()									
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算 の 状 況		(a) 当初予算額	15,246						
			(b) 予算現額	5,203						
			(c) 増減額(b-a)	▲ 10,043	0	0	0	0	0	
			(d) 繰越額	—	—					
			A. 計(b+d)	5,203	0	0	0	0	0	
			B. 執行済額	5,203						
			うち交付金充当額	4,162						
			次年度繰越額	0	0					
			執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
			予算の状況の説明	製氷施設解体設計業務を次年度行うこととなった為、10,043千円を減額した。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	活動目標(指標)			達成状況						
					R6年度	年度	年度	年度		
	基本設計作成	目 標	(基本設計作成)	()	()	()				
		実 績	基本設計作成							
		目 標	()	()	()	()				
		実 績								
達成 状 況 説 明	基本設計が完成した。令和7年度は実施設計を行う。									
成果目標 (指標) 及び進捗状況	成果目標(指標)				基準値 (年度)	R6年度	年度	年度	目標値 (年度)	
	基本設計作成	目 標	()	(基本設計作成)	()	()	()			
		実 績		基本設計作成						
		目 標	()	()	()	()	()			
		実 績								
進 捗 状 況 説 明	基本設計が完成した。令和7年度は実施設計を行う。									

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	製氷施設解体設計業務を令和7年度に行う事となり、当初予算6割の予算減額が生じた。 策定した基本設計を踏まえ、遺構を活かした施設、空間整備に向けて関係機関との調整及び実施設計を行う必要がある。	遺構を活かした拠点エリアの整備に向けて、令和7年度に実施設計を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
令和7年度の実施設計、令和8～9年度の工事着手に向け、関係機関との調整を行い、計画通りに整備できるよう努めていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
5,203	5,203	4,162	1,041	0

北大東村
5,203千円

委託料
5,203千円

(株)国建
5,203千円

重要文化的景観拠点
エリア整備基本設計
委託業務

資金の 使途の 流れ、 点検 評価 ・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事業者は一般競争入札により適正に選定しており、妥当であった。 ○予算規模については適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北大東村							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	9-① 学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-イ			
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	令和6年度～令和7年度		Society5.0に対応する教育の推進			
				沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(1)			
事業内容	ICT機器を活用したわかりやすい授業を展開することで、児童生徒の学力向上を図る。							
効果発現年度	■ 当年度 □ 後年度(年度)							
実施方法	■ 直接実施 □ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算 の 状 況	(a)当初予算額	34,306					
		(b)予算現額	34,306					
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
		(d)繰越額	—	—				
		A. 計(b+d)	34,306	0	0	0	0	
	B. 執行済額		32,599					
	うち交付金充当額		26,079					
	次年度繰越額		0	0				
	執行率(%) (B/A)		95.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
	予算の状況の説明		不用額1,707千円については入札残によるものである。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況					
			R6年度	年度	年度	年度		
	電子黒板(ディスプレイタイプ 可動式)12台設置	目 標	(電子黒板12台)	()	()	()		
		実 績	電子黒板12台					
	ネット回線整備(小学校1校・中学校1校)	目 標	(ネット回線整備2校)	()	()	()		
		実 績	ネット回線整備2校					
達成状況説明	電子黒板12台設置及びネット回線整備(小学校1校・中学校1校)が完了した。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	成果目標(指標)			基準値 (年度)	R6年度	年度	年度	目標値 (年度)
	児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったかと答えた割合(80%以上)を含め事業のあり方を検証する。	目 標	()	(80%以上)	()	()	()	
		実 績		82%				
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
進捗状況説明	ICT機器を活用した授業がわかりやすかったとの回答を児童生徒の80%から回答を頂いた。							

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	電子黒板の導入により、教員の90%以上が日常の授業でICT機器を活用している。視覚的な情報提示が可能となった事で、児童生徒の理解力向上に寄与している。	児童生徒のアンケート結果では、82%が「授業がわかりやすかった」と回答を得られ成果目標を達成した。より双方向的な活用方法等の工夫により、さらなる学習効果の向上が期待される。
今後の取り組み方針		
教員間での情報共有や優良事例の紹介を通じて、活用の質的向上を図り、引き続き視覚的な教材活用を推進し、児童生徒の理解促進に務めるとともに、成果水準の維持・向上を目指す。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>32,599</td><td>32,599</td><td>26,079</td><td>6,520</td><td>0</td></tr> </table> 北大東村 32,599千円 工事請負費 17,050千円 (株)okicom 17,050千円 北大東村内小中学校校内LAN構築業務 備品購入費 15,549千円 (有)文正堂 15,549千円 電子黒板12台設置 （・65インチ液晶ディスプレイ）					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	32,599	32,599	26,079	6,520	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
32,599	32,599	26,079	6,520	0										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事業者は一般競争入札により適正に選定しており、妥当であった。 ○予算規模については適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												